

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく由良川の取組方針の実施状況表

資料-1

黒ハッチ：目標時期が過ぎている

具体的な取組の柱		取り組み内容	課題番号	目標時期	令和4年3月までの取組状況										目標時期(各年ごと)		
事項	水系				○：未実施 ●：実施済み ▲：実施中 -：対象外										R3 (令和4年3月時点)	R4	
					福知山市	舞鶴市	綾部市	宮津市	京都府	気象台	国	西日本旅客鉄道株式会社	WILLER TRAINS株式会社	住民			
(1) ソフト対策の主な取組																	
①地域特性を十分に考慮した迅速かつ確実な実現に向けた取組																	
■防災関係機関の連携	由良川	・風水害体制時活用サイト集を共有	1	毎年度	●	●	●	●	●	●	●	●	—	—	—	実施済み	実施予定
		・年度始めに担当者会議を開催し、災害担当者に周知		毎年度	●	●	●	●	●	●	●	—	—	—	実施済み	実施予定	
		・WEB会議を活用した多機関同時の情報共有		毎年度	●	●	●	●	●	●	●	●	—	—	実施済み	実施予定	
		・年度初めに「首長ホットライン」「担当者ホットライン」を確認し、地域防災訓練において、ホットラインの訓練を実施	3	毎年度	●	●	●	●	—	●	●	—	—	—	実施済み	実施予定	
		・タイムラインについて、連携機関を広げるブラッシュアップに努める。		令和7年度末	○	▲	▲	○	▲	○	▲	●	▲	—	JR西日本実施済み 2/4市、京都府、国、 WILLER TRAINS実施中	実施予定	
		・無堤地区等における避難のタイミングについて検討し、必要に応じてタイムラインに位置付ける	9	令和7年度末	▲	●	●	○	○	—	●	—	—	—	2/4市、国実施済み 1/4市実施中	実施予定	
・災害時や感染症蔓延下において当該市内の避難所だけで避難者を受容できない場合は、隣接市の避難所や民間施設等の利用、分散避難（在宅避難、垂直避難、親族や知人宅への避難等）について検討や調整を実施し、必要に応じて広域避難体制の構築や避難計画の見直しを実施。あわせて避難時の公共交通機関の利用方法について検討を行う。	14	令和7年度末	▲	▲	●	○	—	—	—	●	●	—	1/4市、WILLER TRAINS実施済み、2/4市実施中	実施予定			
■災害リスクの表示	由良川	・計画規模降雨及び想定最大規模降雨時の氾濫シミュレーションについて、浸水ナビ登録にて提供	8	令和7年度末	—	—	—	—	▲	—	●	—	—	—	京都府実施中、国実施済み	実施予定	
		・まるとまごごとハザードマップなど災害リスクの現地表示を実施		令和7年度末	●	○	▲	○	○	—	▲	—	—	—	1/4市実施済み 1/4市、国実施中	実施予定	
		・想定最大規模降雨時の洪水浸水想定区域図等を反映した水害ハザードマップの周知	15	令和7年度末	▲	●	●	●	●	—	●	—	—	—	3/4市、京都府、国実施済み、1/4市実施中	実施予定	
		・由良川流域に位置する市管理の洪水予報河川・水位周知河川以外の河川について、「小規模河川の氾濫推定図作成の手引き」に基づき、氾濫推定図の作成を進める		16	令和7年度末	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	実施予定
		・京都府の洪水浸水想定区域図、市の氾濫推定図をハザードマップに反映し、リスク情報の空白域の解消を進める	令和7年度末		▲	○	●	●	●	—	—	—	—	—	2/4市、京都府実施済み 1/4市実施中	実施予定	
		・由良川流域に位置する京都府管理の洪水予報河川・水位周知河川以外の河川について、想定最大規模降雨時の洪水浸水想定区域図等の作成・公表・周知	令和4年度末	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	実施済み	実施予定	
■避難情報等の発令基準の策定	由良川	・想定最大規模降雨時の浸水範囲や浸水深等を踏まえ、①由良川沿川の道路が全線にわたり冠水したり地区全体が大きく水没するなど垂直避難が不可能な地区については、広域的な避難が出来るよう発令基準を従来より早めるほか、②毎回想定最大規模の水害に対する避難体制をとることが困難かつ現実的でないと考えられる場合は、計画規模等の水害に対する1次避難から2次避難への移行判断基準を設けるなど、地区の実情に応じた避難情報の発令基準を検討し取り決める	5	令和7年度末	▲	▲	○	○	—	—	○	—	—	—	2/4市実施中	実施予定	
		・想定最大規模降雨時の浸水範囲や浸水深、感染症蔓延下等も踏まえた（必要に応じ広域的な）避難体制（避難所関係含む）の再構築・検討を実施。この際、避難行動要支援者への配慮を適切に行う		12	令和7年度末	▲	▲	○	○	—	—	—	—	—	—	2/4市実施中	実施予定
		・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成をできる限り早急に行う。	13	令和3年度末	▲	▲	●	▲	—	—	—	—	—	—	1/4市実施済み 3/4市実施中	実施済み	
		・小中学校における避難確保計画の作成を行う。		令和7年度末	●	●	●	▲	—	—	—	—	—	—	3/4市実施済み 1/4市実施中	実施予定	
■避難行動のための情報発信等	由良川	・激甚化する豪雨災害に対応し、分かりやすい防災気象情報の提供に努める。 令和3年度は記録的短時間大雨情報の改善と警戒レベルに対応した高潮警報に改善を行う。	2	令和3年出水期前	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—	実施済み		
		・夜間の避難が困難なことから、早めの避難情報等の発令や避難所開設を行う場合があることを住民に予め周知。 引き続き、空振りを恐れない早めの避難情報等の発令を実施		7	令和7年度末	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—	実施済み	実施予定
		・避難行動のための情報伝達手段の充実及び多様化	10	令和7年度末	●	●	●	●	○	●	●	—	—	—	4/4市、気象台、国実施済み	実施予定	
		・避難行動要支援者に対する確実な情報伝達を支援		11	令和7年度末	▲	●	●	●	—	—	—	—	—	—	3/4市実施済み 1/4市実施中	実施予定
■防災に関する啓発活動、水害（防災）教育の拡充	由良川	・施設では守り切れない大洪水は必ず発生するとの考え方に立ち、想定最大規模降雨時の水害ハザードマップを活用した地域住民が参加する避難訓練を実施	17	毎年度	●	●	●	○	●	○	●	—	—	○	3/4市、京都府、国実施済み	実施予定	
		・タイムラインのシナリオに基づく地域住民が参加する避難訓練を実施。その際、避難行動要支援者の避難も想定		毎年度	●	●	●	○	○	○	○	—	—	○	3/4市実施済み	実施予定	
		・要配慮者利用施設における避難訓練を実施	18	毎年度	▲	●	▲	●	○	○	▲	—	—	○	2/4市実施済み 2/4市、国実施中	実施予定	
		・自主防災組織への出前講座を継続し実施するとともに、学校関係については、対象を小中高校生徒だけでなく、先生等を対象としたものに拡大し、地域の水防災意識を高める	19	毎年度	▲	●	●	●	●	●	●	—	—	○	3/4市、京都府、気象台、国 実施済み、1/4市実施中	実施予定	
・防災教育に関する支援を実施する学校を教育関係者等と連携して決定し、指導計画の作成支援に着手、作成された指導計画を関係市の学校に共有。	令和7年度末	●		●	●	○	○	○	●	—	—	○	3/4市、国実施済み	実施予定			

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく由良川の取組方針の実施状況表

資料-1

黒ハッチ：目標時期が過ぎている

具体的な取組の柱		取り組み内容	課題番号	目標時期	令和4年3月までの取組状況										目標時期(各年ごと)		
事項					○：未実施 ●：実施済み ▲：実施中 ー：対象外										R3 (令和4年3月時点)	R4	
具体的取組	水系				福知山市	舞鶴市	綾部市	宮津市	京都府	気象台	国	西日本旅客鉄道株式会社	WILLER TRAINS株式会社	住民			
■浸水被害軽減地区の指定	由良川	・消防団（水防団）や地域住民等を対象とした現場説明会の規模拡大を図り、施設では守り切れない大洪水は必ず発生するとの考え方に立ち、水害リスクの高い箇所において堤防の共同点検を行い、地域の水防災意識を高める ・効果的な「水防災意識社会」の再構築に資する広報を検証の上実施	20	毎年度	▲	●	●	▲	○	○	●	—	—	○	2/4市、国実施済み 2/4市検討中	実施予定	
			21	令和7年度末	●	●	●	●	●	●	●	—	—	—	—	実施済み	実施予定
	■ダム再生の推進	由良川	・水防管理者が浸水被害軽減地区を指定する際の参考となるよう、浸水エリアの拡大を抑制する効果があると認められる土地に係る情報（地形データや氾濫シミュレーション結果等）提供を実施 ・複数市に影響があると想定される浸水被害軽減地区の指定については、協議会の場等を活用して指定の予定や指定にあたっての課題を水防管理者間で共有し、連携して指定に取り組む。 ・大野ダムにおいて、事前放流の最終目標水位150.0mでの運用を開始する予定。また、平常時からのダム情報の発信に努める。	37	令和7年度末	○	○	○	○	○	—	●	—	—	—	国実施済み	実施予定
				38	令和7年度末	○	○	○	○	○	—	○	—	—	—	—	—
②地域力を最大限発揮した水防活動の実現																	
■水防活動の強化・効率化	由良川	・消防団（水防団）が河川管理者等と共に、大規模出水時に水防活動を行う可能性の高い水害リスクの高い箇所を予め把握すべく、水防工法訓練や由良川防災パトロール、災害図上訓練（DIG:Disaster Imagination Game）等を実施 ・土のう造成機（国が保有）を活用するなどして予め製造した土のうや土砂を、既存の土のうステーション等の他、今後整備する防災ステーションや水防拠点に大量に仮置きしたり、水のうを配備したりしておくことにより、水防活動の円滑化かつ迅速化を図る。 各市はそれを利用することで円滑かつ迅速な水防活動を行う	23	毎年度	●	●	●	●	○	○	●	—	—	○	4/4市、国実施済み	実施予定	
			24	毎年度	●	●	●	●	—	—	●	—	—	—	—	実施済み	実施予定
	■水防体制の強化	由良川	・引き続き、消防団（水防団）員の確保（募集等）と、自主防災組織の新規設置に努める ・リーダー育成、後世に繋ぐための研修会を開催 ・大規模な氾濫に対してより広域的、効率的な水防活動が実施できるよう関係者の協力内容等について検討・調整	25	毎年度	●	●	●	●	—	—	—	—	○	実施済み	実施予定	
				26	毎年度	●	●	●	○	—	—	—	—	—	○	3/4市実施済み	実施予定
③大規模浸水被害から早期復旧するための事前の計画・準備に向けた取組																	
■自衛水防の推進	由良川	・災害拠点病院を含む防災関係機関や企業の施設等に対し、想定大規模降雨時における浸水リスクの説明 ・水害対策等の啓発活動を引き続き行う	29	令和7年度末	●	●	●	●	●	—	●	—	—	—	実施済み	実施予定	
			28	令和7年度末	●	●	●	●	●	—	●	—	—	—	—	実施済み	実施予定
	■社会活動の早期回復対策	由良川	・浸水想定区域内の市役所や災害拠点病院等の機能確保に関する情報を共有し、耐水化、非常用電源等の必要な対策については各施設管理者において順次実施。 ・福知山市においては、総合的な治水対策による段階的な整備を踏まえ、効率的かつ迅速に氾濫水を排水するため、排水手法の検討等を整備段階毎に行い、大規模な水害を想定した由良川排水計画を作成。綾部市は、市街地の「雨水対策基本計画」に基づき具体的な対策に取り組む。また、他市においても、排水計画の必要性について検証し、必要に応じて排水計画を作成。 ・防災関係機関や企業に対してBCPの必要性を周知し、BCPを各機関で作成及び精査。必要に応じて感染症対策も踏まえたBCPも作成	31	令和7年度末	▲	▲	▲	▲	▲	—	▲	—	—	1/4市、JR西日本実施済み 1/4市実施中	実施予定	
				33	令和7年度末	▲	○	▲	●	●	—	●	●	●	—	—	1/4市、京都府、国、JR西日本、WILLER TRAINS実施済み、 2/4市実施中
■内水対策	由良川	・関係機関と連携し内水対策の検討を行い、必要に応じ内水対策計画を作成。	32	令和7年度末	●	●	●	●	●	●	●	—	—	—	実施済み	実施予定	
(2) ハード対策の主な取組																	
■洪水を安全に流す対策	由良川	・下流部：輪中堤整備、宅地嵩上げ、中流部：連続堤防整備及び河道掘削等の実施 ・由良川の水位を下げるため、河道掘削、樹木伐採を実施 ・侵食・洗掘対策を実施	34	令和7年度末	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	—	実施中	実施予定	
			35	令和7年度末	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	—	実施中	実施予定	
			30	令和7年度末	▲	●	▲	○	●	—	●	—	—	—	—	1/4市、京都府、国実施済み 2/4市実施中	実施予定
■危機管理型ハード対策に続く堤防強化	由良川	・天端の保護、裏法尻の補強	36	令和7年度末	—	—	—	—	—	▲	—	—	—	実施中	実施予定		
■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備	由良川	・円滑かつ迅速な避難に資する施設（ハード）整備 例）防災行政無線スピーカーの増設、CCTVカメラの増設、民間企業等と連携した一時避難場所の確保、避難経路の指定・整備、避難所や災害拠点等における感染症対策に必要な物資・資材の整備等 ・洪水時の機能確保のために、簡易型河川監視カメラの維持管理を行い、必要に応じて新たに設置する	22	令和7年度末	●	●	●	○	●	—	▲	—	—	—	3/4市、京都府実施済み 国検討中	実施予定	
			27	令和7年度末	—	—	—	—	●	—	▲	—	—	—	—	京都府実施済み 国実施中	実施予定
	■排水施設等の耐水化を引き続き行う	由良川	・排水施設等の耐水化を引き続き行う ・洪水時の機能確保のために、危機管理型水位計の維持管理を行い、必要に応じて新たに設置する ・市管理河川等にセンサー・水位計を設置して浸水把握システムを構築する	4	令和7年度末	●	—	—	—	▲	—	▲	—	—	—	1/1実施済み 京都府、国実施中	実施予定
				4	令和7年度末	▲	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1/2実施済み 1/2市実施中